那覇空港の総合的な調査 平成 16 年度の実施内容(案)

(1) 既存ストックの有効活用方策

旧ターミナル地区を含めたターミナル地区全体整備のあり方の検討

・ ターミナル地区の課題検討(国・大阪航空局)

今後のターミナル展開に際しての課題を抽出するとともに、対応方策案を 作成する。

・ 利用者から見たサービス水準の向上に係る検討(県)

国際線旅客ターミナル地区及び貨物ターミナル地区について、利用者から見たサービス水準の向上を図るため、ソフト面での改善、施設の改修等について検討する。

空港能力の考え方の整理

・ 空港能力の評価指標の検討(国・沖縄総合事務局)

県が実施した「航空サービスの現状及び望まれるサービス水準」及び大阪航空局が実施した「運用実態分析と課題の抽出」の検討結果をもとに、現状の航空サービスの程度を評価する指標を利用者の視点に立って定量的に表す手法を検討するとともに、航空需要の増加に伴い低下する航空サービスの程度を把握する方法の検討を行う。

既存ストックの有効活用方策の検討

・ 空港能力を制約する課題への対応方策の検討(国・大阪航空局)

現空港を最大限に活用するため、平成15年度に抽出された空港能力を制約する課題の対応方策及び空港利用向上方策についての検討結果を踏まえて、具体的な有効活用方策を検討する。

(2) 抜本的な空港能力向上方策の検討

航空利用者特性の分析と将来需要予測の検討

・ 地域特性を考慮した需要予測手法の検討(国・沖縄総合事務局)

地域の将来像や那覇空港の利用者特性を踏まえ、那覇空港の将来の需要を予 測する手法を検討する。

地域における空港の役割と効果、住民意識等の把握

那覇空港の社会経済的役割と効果及び将来像の検討(県)

利用者等のアンケート分析結果及び定量的・定性的に整理した那覇空港の社会経済的な役割と効果を利用者の視点に立ち分かり易く再整理するほか、国内外の社会経済情勢の変化及び課題を踏まえ、那覇空港の将来像を検討する。